



Photo by Tamaki MATSUOKA

数年前、銀座エルメスで上映された『音楽サロン』を見て以来頭から離れない。
没落貴族が主催する音楽サロン。
その中で自由自在に歌う歌手は魔法使いなのか、
喜びの波が溢れ出た。

—— 細野晴臣（音楽家）



サタジット・レイ
レトロスペクティブ
2025
予告編はこちら

7/25/FRI

Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下
ほか全国順次ロードショー！

渋谷駅 宮益坂口・B2出口すぐ
Bunkamura ル・シネマ
渋谷宮下
Bunkamuraを元とするオフィシャルサプライザー
OMRON 計測器 KIRIN 大和証券グループ ETV 東急グループ
【火曜日ル・シネマサービスデー】【本曜日よりBunkamuraオンラインサービスデー】（平日予約）1,200円

SATJIT RAY

古典はいつも新しい

RETROSPECTIVE

音楽サロン デジタルリマスター / ビッグ・シティ デジタルリマスター
チャルラータ デジタルリマスター
臆病者 デジタルリマスター / 聖者 デジタルリマスター
主人公 デジタルリマスター / エレファント・ゴッド デジタルリマスター

サタジット・レイ レトロスペクティブ 2025

(提供) JAHO (配給) GFS
Gucchi's Free School





Photo by Tamaki MATSUOKA

黒澤明、マーティン・スコセッシ、
フランシス・フォード・コッポラ、ウェス・アンダーソン……
世界の巨匠たちが敬愛してやまない映画界の巨人

SATYAJIT RAY

『音楽サロン デジタルリマスター』 日本劇場初公開

(1958年／原題:Jalsaghar／英語題:The Music Room／100分)

20世紀初頭のベンガル地方。地主ビッションボル・ラエは、経済的に困窮しながらも、かつての栄光と誇りにしがみつこうに、音楽と舞踊に耽る日々を送っている。隣人である新興の実業家ガングリに対して対抗心を燃やしたロイは、最後の誇りをかけて、自らの音楽サロンで盛大な演奏会を開く。世界中の映画製作者に影響を与えた、レイ監督の芸術性と映像美が際立つ傑作。音楽監督はシタール奏者の巨匠ヴィラーヤト・カーンが務め、演奏会以外の場面でも有名演奏家が多数出演している。

製作・監督・脚本:サタジット・レイ 原作:タラションコル・ボンドパッダエ
撮影:シュプロト・ミットロ 編集:ドゥラル・ドット 美術:ボンシ・チョンドログプト
音楽:ヴィラーヤト・カーン
キャスト:チョビ・ビッジャシュ、ゴンガボド・ボシュ、カリ・ショルカル



COPYRIGHT 1956/ALL RIGHT RESERVED ANJAN BOSE

『ビッグ・シティ デジタルリマスター』 ベルリン国際映画祭 銀熊賞(監督賞)受賞

(1963年／原題:Mahanagar／英語題:The Big City／136分)

平凡な銀行員シュプロトは家族で唯一の働き手。ある時シュプロトの妻アロティは、(主婦は家にいるべきという)慣習と義父の反対を振り切って訪問販売員としての職を得る。アロティは仕事で順調に評価され自信と経済的自立を手にするが、その状況を受け入れることができない夫は妻に離職を迫る。レイ監督が初めてネオリアリズモへの挑戦を試みた作品であり、物語は1955年当時のコルカタの日常を描く。貧しい下層・中流階級を襲う社会経済的な苦悩に焦点を当て、それを主人公女性の自立を通じて表現している。

監督・脚本・音楽:サタジット・レイ 原作:ノレンドロナト・ミットロ
撮影:シュプロト・ミットロ 編集:ドゥラル・ドット 美術:ボンシ・チョンドログプト
キャスト:マドビ・ムカルジ、オニル・チャタルジ、ヘレン・チャタルジ



COPYRIGHT 1963/ ALL RIGHTS RESERVED RDB ENTERTAINMENTS

『チャルラータ デジタルリマスター』 ベルリン国際映画祭 銀熊賞(監督賞)受賞

(1964年／原題:Charulata／英語題:Charulata／119分)

1880年頃のコルカタ。美しいチャルラータは、外界から隔絶されたヴィクトリア朝時代の華美な邸宅でとてもなく毎日過ごしている。理想主義的な知識人の夫プボティはそんな妻を愛し支えているものの、新しい政治新聞の発行に追われ妻との時間が思うようにとれない。そんな折、プボティのいとこのアマルが訪ねて来ると、プボティはチャルラータに眠る文才を開花させてほしいとアマルに頼む。愛、理想主義、失望、そして悲哀への賛歌である本作は、レイ監督が手掛けた中で最も優美な作品であり、監督の創造期と言われる1960年代に撮られた最高傑作。

監督・脚本・音楽:サタジット・レイ 原作:ラビンドラナート・タゴール
撮影:シュプロト・ミットロ 編集:ドゥラル・ドット
美術:ボンシ・チョンドログプト
キャスト:マドビ・ムカルジ、ショウミットロ・チャタルジ、ショイレン・ムカルジ



COPYRIGHT 1964/ ALL RIGHTS RESERVED RDB ENTERTAINMENTS

『臆病者 デジタルリマスター』 日本劇場初公開

(1965年／原題:Kapurush／英語題:The Coward／70分)

監督作品の常連であるショウミットロ・チャタルジが、コルカタの脚本家で主人公のアミを演じている。アミは不運にも乗車したタクシーの故障に見舞われるが、茶園を経営する裕福なビマールの親切で彼の家に泊まることになる。驚いたことに、ビマールの家にいた彼の妻コルナは、何年も前、アミが自身の優柔不断ゆえに失った元恋人であった。家族、結婚、男尊女卑、階層といった旧来の価値観と、個人の自由や愛、自己決定といった新しい価値観のぶつかり合いが描かれる。

監督・脚本・音楽:サタジット・レイ 原作:ブレメンドロ・ミットロ
撮影:ショウメンドゥ・ラエ 編集:ドゥラル・ドット 美術:ボンシ・チョンドログプト
キャスト:ショウミットロ・チャタルジ、マドビ・ムカルジ、ハラドン・パナルジ



COPYRIGHT 1965/ ALL RIGHTS RESERVED RDB ENTERTAINMENTS

『聖者 デジタルリマスター』 日本劇場初公開

(1965年／原題:Mahapurush／英語題:The Holy Man／67分)

弁護士であるグルバダ・ミトラは、妻の死以来、深刻な精神不安に陥っている。娘のプチキとバラナシからの帰路、グルバダは不老を自称するピリンチ・ババと出会う。グルバダは彼に感銘を受け、彼を支援し入信することを決意する。コメディ映画の体裁を取りつつ、宗教的偽善や盲目的な信仰を鋭く風刺し、狂信的信仰を戒めている。伝統と近代化が交錯するインド社会に対するレイ監督の鋭い観察が投影された作品。

監督・脚本・音楽:サタジット・レイ 原作:ラジシェコル・ボシュ(ボロシュラム)
撮影:ショウメンドゥ・ラエ 編集:ドゥラル・ドット 美術:ボンシ・チョンドログプト
キャスト:チャルプロカシュ・ゴーシュ、ロビ・ゴーシュ



COPYRIGHT 1965/ ALL RIGHTS RESERVED RDB ENTERTAINMENTS

『主人公 デジタルリマスター』 ベルリン国際映画祭 審査員特別表彰 日本劇場初公開

(1966年／原題:Nayak／英語題:The Hero／117分)

有名なベンガル映画俳優であるアリンダムは、デリーで行われる授賞式へ列車で向かうことになる。列車内では乗客全員が彼のことを知っている。その中で彼の関心を引いたのは、お堅い女性誌の記者アディティだった。スターの役割に明快で批判的な視点を持つ彼女がアリンダムにインタビューを行うことで、彼は自身の半生を見つめ直すことになる。アリンダムの危機や内省を通して、映画業界の問題(軽薄な娯楽作品の量産、商業主義、そして腐敗したビジネス慣行)を巧みに批判している。

監督・脚本・音楽:サタジット・レイ 撮影:シュプロト・ミットロ
編集:ドゥラル・ドット 美術:ボンシ・チョンドログプト
キャスト:ウットム・クマル、ショルミラ・タクル(ヒンディー語読み:シャルミラー・タゴール)、ニルモル・ゴーシュ



COPYRIGHT 1966/ ALL RIGHTS RESERVED RDB ENTERTAINMENTS

『エレファント・ゴッド デジタルリマスター』 日本劇場初公開

(1979年／原題:Joi Baba Felunath／英語題:The Elephant God／122分)

私立探偵のフェルーとそのいとこが休暇のためバラナシの街に到着すると、ある男に事件の解決を依頼される。ネパールの王子から譲り受けた家宝だという貴重なガネーシャの金像が盗難に遭ったらしい。フェルーは、事件解決のための重要な手がかりを知る少年ルクと親しくなる。レイ監督自身による小説「探偵フェルダーシリーズ」を元に映画化された第2作目。ショウミットロ・チャタルジ演じる探偵がその高い分析力と洞察力で事件を解決に導く、エンターテインメント性に富んだテンポのよい冒険コメディ。

監督・原作・脚本・音楽:サタジット・レイ 撮影:ショウメンドゥ・ラエ
編集:ドゥラル・ドット 美術:オショク・ボシュ
キャスト:ショウミットロ・チャタルジ、ショントシュ・ドット、シッダルト・チャタルジ



COPYRIGHT 1979/ ALL RIGHTS RESERVED RDB ENTERTAINMENTS